

「(仮称)京丹後市磯砂山風力発電事業」に係る地元説明会における主な質疑応答内容

	項目	地元住民意見等要旨	事業者回答要旨
1	環境影響評価	環境影響評価において市民から意見を出せるとのことだが、どのような意見に対しても回答するのか。	提出のあった意見に対しては、どのような内容であっても回答する。
		景観の変化、低周波、土砂の流出等のデメリットをどのように考えているか。	事業実施による種々の影響は環境影響評価において調査を行うことになる。
2	騒音及び低周波音	騒音や低周波音による健康被害を危惧する。	国の指針に基づいた計画とする。設置の前後に調査を行う。
		事業者が関わってきた風力発電事業において、騒音や低周波音に関するトラブルはないのか。	設置後の騒音等に関する具体的なトラブル対応の経験はない。
3	事業計画	事業による総開発面積は。	現時点で詳細な数値を示すことはできないが、工事用道路の幅員は5m、風力発電機1基当たり4,000㎡程度の作業ヤードを設ける。
		想定している総事業費と風力発電機1基当たりの価格は。	総事業費は約150億円程度、1基当たりの価格は約5億円程度となる。
4	土砂災害	熱海での土砂災害の原因は残土だったが、残土処理をどのように考えているのか。	残土処理においては、危険個所を避ける、沈砂池を設置する等の方法により問題がおこらないように設計する。
5	水源	事業地周辺には水道施設が多くあるため、水質や水量の調査が必要になるがどう考えているか。	環境影響評価において、水環境に関する調査を行う。
6	輸送及び工事用車両	資機材の山への搬入道路はどこに設けるのか。	検討中である。
7	生物	事業計画地にはコウノトリが飛来していることを認識しているか。	コウノトリへの影響については既に専門家等へのヒアリング等の調査を開始している。今後、環境影響評価の手続きにおいて、生物への影響に関する調査を行い事業計画に反映する。

8	文化財等	磯砂山の文化的、歴史的な価値や地元住民が大切にしている山であることを認識しているのか。	市民に親しまれている山であることは認識している。今後、色々な意見を聴かせていただきたい。
9	景観	日常生活の場からのモンタージュ写真が必要。	モンタージュ写真をお示しする。
10	事業の継続性	自然電力株式会社が倒産した場合はどうなるのか。	金融機関からの借り入れにより事業を実施するため、倒産した場合は、事業の権利が金融機関に移り、金融機関が別の事業者を探すことになる。
		事業収益の計画はどのようになっているのか。	概算で1年間の1基当たりの発電収入は1億円～2億円を見込んでいる。
11	事業終了後	事業終了後、施設はどうなるのか。	全ての施設を撤去して更地にする計画としており、その費用は売電費用から積み立てる。
12	太鼓山風力発電事業	太鼓山風力発電事業の事故等の状況をどのように捉えているのか。	当時とは機器メンテナンスの考え方が変わってきており、機器の定期点検が義務付けられている。また、落雷対策等の風力発電機の性能が向上している。なお、不具合等発生時には直ちに対応できるよう技術者を常駐させる予定としている。
13	地域貢献等	事業実施による京丹後市のメリットは。	固定資産税収入がある。風力発電を地域資源として活用する方法等については関係機関との調整を進めたい。
		事業実施による地域貢献や地域振興をどのように考えているか。	山道整備、公民館改修、草刈り、用水路整備、特産品を作る等、地域ニーズをお伺いしながら検討を進めたい。
		展望施設やトイレを設置するのか。	事業費の許す範囲で検討したい。他所では見学施設を設け、遠足であったり高校の科学部の教材として活用している事例がある。
14	その他	今後の調査結果で事業化が難しいとなった場合や反対の声が多い場合は中止するのか。	調査の結果事業性が低いと判断した場合や反対意見が強い場合は事業を中止することはありえる。